

## 令和5年度第2回 鳴門市児童福祉審議会 議事録

日 時 令和5年11月22日(水) 午後7時～

場 所 消防庁舎3階 会議室

出席者 委員10名、関係課・事務局職員11名

欠席者 委員7名

傍聴者 1名

### 概 要

#### 1 開会

#### 2 会長あいさつ

#### 3 議事

##### (1) 第3期鳴門市子ども・子育て支援事業ニーズ調査について

第3期鳴門市子ども・子育て支援事業ニーズ調査について、調査の概要や実施予定、質問項目等について、事務局より報告しました。

##### (委員)

鳴門市子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査票（就学前児童用）（以下、「調査票（就学前児童用）」という）の問12を追加したということであるが、質問の文言は国からの雛形に入っている文言の通りなのか。

##### (事務局)

国が示している雛形通りではなく、事務局で考えて追加している。

##### (委員)

調査票（就学前児童用）問12で気になったのは、設問を読み進めると「母親と配偶者またはパートナー」と書かれており、頭の中で母親は子育てや家事をするべきものだと決まっていて、それ以外に助けてくれた方は誰ですか。という捉え方をしてしまった。産後すぐでも母親以外が主として養育している方も結構いるのでこの設問の文言に対して気になる方もいるのではないかと感じた。

次に、回答率を上げたいということで、この調査票は白黒で印刷する予定とのことであるが、調査票を見ると、文字のフォントとサイズが混在しているので受け取った側からすると目が忙しいので最初（表紙）を見た段階で時間がかかるなど感じてしまう。また、調査票（就学前児童用）7ページの間17の回答のところで「現在の利用状況」を強調したいのかもしれないが、一番上の枠内は幼稚園と幼稚園の一時預かりにアンダーラインが入っているが、それより下の部分の「子育て（教育を含め）」の部分は同じ文言がずらっと並んで、アンダーラインが無いので、きっちり読み込んでいかなければならないのでこのあたりについてもかなり時間がかかるんじゃないかと感じてしまう。国の雛形がどのようになっているか分からないが、このあたりをもう少しパツと回答しやすい形にした方が回答率は上がるのではないかと感じた。

(事務局)

フォントの統一や強調の仕方など、市民への周知の仕方は非常に重要であると考えている。もう少し見やすいデザインや文字の使い方ができるよう、検討したい。ユニバーサルデザインフォントの使用についても検討したい。

また、産後育児をする方の対象についてであるが、調査票の色々なところで母親や父親とでてきて悩むところがあり、どう考えるかということもあるが、お産をするのは母親しかいないという点を踏まえ、「母親」と質問に先に出して書いている。何か表現的によいものがあれば助言をいただきたい。

(委員)

調査票（就学前児童用）問 12 の質問の意図は何か。子どもの両親は必ず、家事・子育てをするというのが前提で、それ以外に産後に誰が子育てや家事をしたのかということを知りたいということでもいいのか。このアンケートを取った結果、次に何の事業のこういうことに使える等、把握ができれば、いい案が出せそうだと思うが質問の意図が分からないのもう一度教えてもらいたい。

(事務局)

基本、2 人親であれば、両親を指すと考えているが、家庭の状況によって、パートナーと表現される家庭状況もあるので、そのようなイメージで考えているため、祖父母については設問に入っている。

(委員)

調査票（就学前児童用）問 12 の設問で「産後の育児について誰が担ったのか」みたいな聞き方にして、選択肢に母親や父親を入れるような聞き方ではダメなのか。

(事務局)

アンケートに答える前提として、対象者の子どもの親に答えていただくという設問設定になるので、その立場から見た場合、「自分以外で子育てを助けてくれる人は誰ですか。」という設問になる。「助けてもらう」という設問についてどう表現するのかということにもよると思う。

(委員)

調査票（就学前児童用）問 12 の設問を二つに分けることはできるのか。「主に子育てをされる方はどなたですか。そして、サポートをしてくれる方はどなたですか。」という形にしてはどうか。

(事務局)

調査票（就学前児童用）問 7 では産前産後ではないが、日常的に子育てに関わっている方ということで母親、父親が入っている。この設問を踏まえた上で、母親・父親以外に助けてくれる方

というものを調査票（就学前児童用）問 12 で問う形になると思う。配偶者がいる、いないについては調査票（就学前児童用）問 5 の部分で問うている。これらの設問を複合的に見ることで子育てに孤立している実態が浮かんでくるのではないかと思う。

（委員）

それならやはり、調査票（就学前児童用）問 12 の「産後直後の育児について子育てや家事を主に担ったのは誰ですか。」と聞いて、父親・母親を選択肢に含めることで「誰もいなかった」という選択肢を省くことができ、よりクリアなものになると思う。調査票（就学前児童用）問 4 の設問で回答者は父親、母親、その他となっているので回答者がその他の人だった場合を考えると、調査結果を使うとなった時に、よくわからない回答になりそうなので検討してもらえたらと思う。

（事務局）

内容については再度整理したいと思う。

（委員）

調査票（就学前児童用）問 12 の産後の育児というのはいつまでのことをいうのか。アンケートを受け取った人がどう思うのかなと思ったので、いつまでなのか分かりやすくしておいた方がいいと思う。

（事務局）

アンケートを受けとった方々が混乱しないように分かるようにしたいと思う。

（委員）

調査の実施についてであるが今回は郵送による配布と回収であるが、前回の実施時の配布方法と回収方法及び回収率についてと今回実施するにあたって、どれくらいの回収率を想定しているのか教えてもらいたい。

（事務局）

前回のアンケートの回収率と方法であるが、就学前と小学校 1 年生から 3 年生の保護者を対象にアンケートを実施した。調査票は就学前で兄弟がいる家庭や小学校 1～3 年生で兄弟がいる家庭に関しては各 1 通しか届かないようにした。小学生と就学前の子どもがいるご家庭に関しては 2 通行ってしまう家庭もあったが、世帯数で就学前が 1804 件、小学生 1～3 年生が 1260 件の調査票を配布した。

前回調査時の回収率については就学前児童が 49.3%、小学生 1～3 年生が 38.3%の回収率があり、これだけの有効回収率があれば、ニーズ調査アンケート調査としては十分有効であるということで調査結果を踏まえた計画を策定した。また、配布と回収方法について、世帯によって兄弟がいた場合、調査対象者となったり、ならなかったり、ということもあるので、学校を通じて配

布ということも考えたが、この子は配るが、この子は配らない、など先生方の負担が重たいということもあり郵送による方法のみとした。

**(委員)**

調査票（就学前児童用）の問 42 の項目は 5 年前の調査と同じ項目になっているのか。調査票（就学前児童用）問 21 ではショートステイについて触れられているが、調査票（就学前児童用）問 42 の「どのような支援策の充実を図ってほしいか。」の中にショートステイを入れた方が良いのではないかと思う。

**(事務局)**

ショートステイを調査票（就学前児童用）問 42 の項目として入れるかどうかについて、検討したいと思う。

**(委員)**

委員の皆さんが言うように、この資料を読み込むのはかなり時間がかかると思う。私は鳴門市で子育てに関する仕事をしているので、鳴門市が今行っている子育てに関する事業や施設などの内容をよく知っているので、この事業はどこで施設でしているかなど、すぐに頭に浮かぶが、鳴門市で生活していても「この事業って、どこで何をしているの」という保護者の人もいる。

調査票（就学前児童）10 ページに問 21 の参考（事業名称等と概要一覧）があるが、この一覧についてはアンケートとは別にした方がいいと思う。一気にこのアンケートを回答するのは時間がかかるので、少しでも読みやすく、答えやすく改善できるのであれば、お願いしたいと思う。

**(事務局)**

この事業は、国が法律で決めて、5 年に 1 度の区切りで調査するというので、調査項目を基本示されているという状況になるので、なかなか変えにくい。ひとり親の調査などでは質問項目を削る場合もあるが、今回のニーズ調査の場合は設問を省くことの難しさが出てくることを認識している。調査票の見やすさ等の部分は改善できると思うが、設問のボリュームを減らすというのはなかなか厳しいと思う。

**(事務局)**

先程、意見があった調査票、（就学前児童用）10 ページの参考（事業名称等と概要一覧）部分を抜き出して別冊とするということについては可能かどうか検討したいと思う。

**(委員)**

調査票（就学前児童用）問 18 の設問で年齢ごとに答えるとなっているが、これは受けとった時の年齢で答えるのか、過去に遡って答えるのか、未来のことも考えて答えるのか、よく分からないので、どうして欲しいのか、意図を分かりやすくして欲しい。

(事務局)

今回の調査は鳴門市の子どもの中でどのくらいの割合で幼稚園や保育所などの施設を使うのか、何歳から必要かというのを数値化し、それに応じて、どれだけの幼稚園や保育所の枠が必要か、提供体制に今後不足が生じないかというところで、ニーズ調査するもの。0歳から保育所を利用した人が何%、1歳から利用した人は何%という形で年齢ごとにどの事業が必要であるか、という数値を出したい。過去利用して、これからも利用したいのか、今は利用していないがこれからは利用したいのか、といった数を数値化する。例えば0歳の時は育休を取るのではなかったという場合は0歳の部分はマルが入らない。

また、これだけ分類しているのは、全国的に幼稚園は3歳からであるが、鳴門市の場合、公立幼稚園は4歳からしか受けていない。単純に「幼稚園を使いたいですか」と聞いた時に3歳からのニーズなのか4歳からのニーズなのか判別ができないので、国が求める基準よりも細かく年齢を示す形にしている。

(事務局)

調査票(就学前児童用)問18の質問の意図について、回答される方にきちんと伝わるような表現に改めたいと思う。

(委員)

子どもが何人かいる家庭の方が、それぞれの子どもの年齢ごとに該当する所をマルするものだった。例えば、姉妹がいる家庭であれば、妹の年齢でマルをつけて、姉の年齢でマルをつけると私は受け取った。

(事務局)

この調査票は「宛名のお子さんについて」ということで限定はしている。この書き方だと、アンケートを受け取った方は少し分かりにくいと思うので、どのような表現にすれば、「この子のことを回答するんやな。」と回答者に分かってもらえるのか、工夫する必要があると思っている。

(委員)

「利用したいと考える事業をすべてマルしてください。」ではダメか。

(事務局)

その設問にした場合、幼稚園と認定こども園の幼稚園部分を使いたいとなった場合、1人が2つのニーズになる。設置側はそのニーズに対して、施設の収容能力を増やしていかなければならない。そうなった場合、施設の収容能力を増やしたが、実際に来る人が少なかったら、「それだけ必要はなかった。」ということになる。この調査で知りたいのは、本当にどの方にどのようなサービスが必要なのかということを知りたいので、あまりにも余剰が出て必要が無かったとなった場合、供給体制が無駄になってしまうので、きちっとしたニーズを知るための調査としたい。

(委員)

調査票(就学前児童用)問18は保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業を年齢ごとにお答えください。(あてはまるものすべてにマル)となっているので全部にマルをしてもいいものなのかと思った。

(委員)

年齢ごとに1つにマルをするのだったら分かるが年齢ごとに当てはまるもの全部にマルを入れていいのかなと思った。

(事務局)

最終的には第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画の65ページに記載の数字を得たい。

(事務局)

この調査の本来の目的は必要なニーズを踏まえて、どの施設がどのように必要なのかというもの。保育所に入りたいけど、違う施設も利用するとなった場合に1人が2つの選択をすることになり、結果を見たら、それだけ利用はなかったということになる。そうなった場合に、その施設が本当に必要なのかどうかということになる。ニーズとマッチングするような量を確認したいので、近い数字にしたいと考えている。色んなご意見をいただく中で、誤解の無いような質問にしていかなければいけないと思うので、回答する側として意見をいただきたい。

(事務局)

子どもの年齢というのは別の設問で把握できるので、調査票(就学前児童用)問18は「それぞれの年齢ごとに利用していた、あるいは利用したいと思うものを一つ答えてください」というような質問にしたら、ニーズは出ると思う。

(委員)

その場合だと、調査票(就学前児童用)問18の選択肢は1(幼稚園)と2(幼稚園の一時預かり)の両方を選べないと無理だと思う。

(事務局)

確かにおっしゃるとおりなので、選択肢を合わせるか、別の形にするか。

(委員)

鳴門市子ども・子育て支援事業計画65ページの数値の見込み量を出したいのであれば、調査票(就学前児童用)問18は「現在利用している、利用していないにかかわらず」ではなく、「宛名のお子さんが来年度からどれを利用したいですか」という質問にした方がいいのではないかと。「利用している・利用していないにかかわらず」と書いていけば、過去に遡って考えなければいけないのか等、色々考えてしまう。「宛名のお子さんが来年から利用する、または利用したいもの

にマルをつけてください。」という質問にしないと見込み量は出せないのではないか。

(事務局)

抽出したニーズ調査の対象者に調査票を配布するのは数ヶ月ずれる。そのため、配った時点でこれから使うものを選んでくださいという設問にってしまうと、0歳児のニーズがゼロとなる。要は0歳児でこの調査票を受け取っても、1歳から、利用するものとなるので0歳児のニーズを拾えない。また、1歳児でこの調査票を受け取って、来年以降としてしまうと2歳児ニーズだけが膨らむこととなる。0歳の保護者の方はなかなかアンケート調査に答えられる余裕がないので、3歳4歳の意見しか出なくて、0歳児ニーズにマルが入らなかつたら、保育が不足するという事態となる。「各年齢で一つの事業を使用した、してない」ではなく、「使用したかった事業を各年齢で一つずつ選んでください。」という形にしたい。問18の選択肢を1と2の両方をマルしないといけないというのであれば、選択肢1と2を合算したものを設問18-1で、選択肢1だけのものを設問18-2という形で設問を増やすしかないと思う。また、過去についても答えていただいて、そのとき何の事業が使いたかったか、各事業に入れなくて使えなかった人もマルをして欲しい。その伝え方が非常に難しいと思う。

(委員)

調査票のボリュームは増えるかもしれないが、細かくしないと伝わらないかもしれない。調査票(就学前児童用)問18の設問は分けて聞いた方が答えやすいのではないかと思う。調査票のボリュームを増やすことについては大丈夫なのか。

(事務局)

デザインや配置については業者と相談したい。委員の皆さんがこの内容では分からないという方がほとんどだったので、この質問に関しては、委員の方々からの意見を踏まえてデザインや質問自体を見直して、こちらの意図が分かって適切なニーズ量がわかるような質問内容に改めて考えたいと思う。

(委員)

調査票(就学前児童用)問18のところであるが、「各年齢ごとに利用したいと考える事業にマルを入れてください。」と簡単に問うた方がいいと思う。

(委員)

それが意図に合っていると思う。質問がスペースを取るのでは2ページに渡るかもしれないが、検討してほしい。

(委員)

調査票(就学前児童用)問21の⑥の「幼稚園の開放事業」であるが、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で全くできていない。この事業を知らない方もたくさんいるが、新型コロナ

ウイルス感染症拡大防止のため、数年は実施できていないということも、お知らせしておかないと、「こんなあったんですか。」という保護者の方もいると思うので追記してもらいたい。

(事務局)

調査票（就学前児童用）問 21 の参考（10 ページ）については修正箇所が他にもあるので、関係各課に照会もかけている。現時点のものに修正して保護者の方には通知しようと考えている。

(委員)

調査票（就学前児童用）問 26 の中に「兄弟姉妹」と記載している箇所があるが、調査票（就学前児童用）問 3 では「きょうだい」とひらがなで記載しているが、国が使用した文言をそのまま使用しているのか。

(事務局)

表現については実施する自治体に任されていると思うので、統一する形で構わないと思う。「兄弟」と「きょうだい」の表現の仕方についてどちらが適切なのか検討いただきたい。

(委員)

統一するのであれば、問題はないと思う。「ひらがな」で問題ないと思う。

(事務局)

それでは、調査票（就学前児童用）問 26 については「きょうだい」とひらがなに修正する。

(委員)

この調査票の印刷は印刷会社にしてもらおうということでよいのか。

(事務局)

ニーズ調査については調査全体を業者に委託しており、業者も入札でもう決まっており、印刷についてもこの委託業者が担うこととなっている。

(委員)

印刷を業者に委託するのであれば、幾分見やすくはなると思う。

(事務局)

今回、審議していただいた内容については事務局で修正をする。修正内容については事務局と会長に一任いただければと思うがよろしいか。

異議なしの声



(委員)

一任していただき、ありがとうございます。本日本日予定している議事は以上となります。

## 2 閉会